

こんな学校があってもいいかも（既存の教育にとられない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、9年前に開設されました。

IQ（知能指数）140 で苦悩する子ども達と希望

—不登校の子ども達の側面を探る—

校長 渡辺 正彦

不登校に苦しむ小学校低学年の彼の IQ（知能検査の結果の知能指数）は 140 です。IQ の平均が 90～109 であり、東大生の平均が 120 ということなので彼の IQ は「非常に高い」に分類されます。IQ 140 の人は、人口の約 2%程度存在するようです。不登校になり本校に来る子ども達には、数学に卓越した能力を有する子どもや絶対音感に近い能力を有する者などがおります。彼等がなぜ学校で苦悩して、不登校になってしまうのか疑問でもあります。

不登校の子ども達の殆どは怠学ではありません。不登校で苦悩する子どもとその保護者を理解して支援するには彼等一人ひとりの個性や置かれている現状を理解することが大切になります。

小学生・中学生によく行われる知能検査（発達検査）には IQ の算出のために下位検査と呼ばれる個々の検査があり、その結果が 4 つの指標に表れます。4 つの指標は「言語理解」（言語による理解力・推理力・思考力）、「知覚推理」（知覚的な情報を把握して推理する力など）、「ワーキングメモリー」（一時的に情報を記憶・処理する能力）、「処理速度」（視覚情報を処理するスピード）です。不登校になり本校を訪ねる子ども達の多くは、この 4 つの指標に凹凸やばらつきがあります。彼等を不登校にして苦悩させている原因の多くがこの 4 つの指標（能力）のばらつきなのです。IQ が高くても 4 つの指標（能力）にばらつきがあれば学校生活に困難を感じます。例えば、ワーキングメモリー（短期記憶）が低い子どもは、先生が書いた黒板の文字を写すのに何度も黒板を見直して写すために人一倍時間がかかる。これは処理速度にも関係するかも知れません。学校の授業や活動は大多数の子ども達の平均を基準に進められます。能力に偏りのある子どもにとってそれは苦痛になりやがて不登校に。

不登校の子ども達には知能の偏りの他にも「HSC」（ハイリー・センシティブ・チャイルド）と呼ばれる五感が非常に敏感なために学校の騒音に対応できない子ども達もおります。私たちは大人は子ども達の持って生まれた個性を理解する必要があります。

子ども達の個性を理解し、苦悩に寄り添うことにより、彼等の優れた一点を伸ばすことができます。適切に評価され、適切な評価を受けた子ども達はやがてその分野で日本を牽引する大人になることでしょう。

街の片隅の「小さな学校ひまわり」はそんな彼等の成長を信じて、今日もボランティア活動に汗を流しております。

支援金の交付が決定しました



青葉区社会福祉協議会様とこどもオポチュニティーズクラブ様から本校の日頃の活動が評価されて、支援金が交付されることになりました。皆様方からの貴重な支援金は、子どもの教材の購入、コロナ禍でのオンライン指導充実のために IT 機器の購入などに活用させていただきます。予定です。

皆様ありがとうございます。

進路情報交換会の計画

主に中学生の保護者を対象に子どもの進路について情報を交換する会を準備中です。全日制高校、三部制高校、通信制高校など多様な進路について先輩保護者を交えて情報交換をする予定です。

日時が決定しましたらお知らせします。

専門部会制度の創設

本校に集う専任ボランティア、保護者ボランティアがそれぞれの立場から子ども達を支援する目的で「専門部会制度」をつくりました。これにより本校の子ども達を多角的にあらゆる方面から支援することが可能になります。主な専門部会は「心理部会」「庶務部会」「鍼灸・アロマ・ヨガ部会」「養鶏・農業部会」「環境部会」などです。

Volunteers Vol. 6

ひまわりでは、様々な分野でご活躍中の専門職の先生方が支援をしてくださっています。今回は青葉台在住の O・M さん（インシャルご希望）をご紹介します。

青葉台在住の先生は体の大きな 30 代の男性です。温厚な性格から子ども達からの人望があります。工業高専・IT 大学大学院で土木工学を専攻した先生は、理数系が得意で現在は主に中学生の数学と理科を指導してくださっております。最近では子どもの要望もあり自宅からオンラインでの授業もしてくれております。

現職は理系ではなく、なんと大手出版社に勤務して漫画の編集者として活躍しておられます。指導の合間には趣味の囲碁や将棋も子ども達に指導をさせていただきます。

勤務日の土曜日が待ち遠しい子ども達があります。

日々の活動の様子

ひまわり「ふれあいレストラン」開店しました

神奈川フードバンク様より提供される食材を活用して毎月第1、第3土曜日にひまわり「ふれあいレストラン」を開店しております。コロナ禍の現在は校内の方々のみを対象としておりますが、コロナ終息後は地域の皆様にもお出でいただく予定です。最近では保護者シェフと子どもシェフが中心になりキーマカレーや混ぜご飯などを作り腕を磨いております。



子どもの活動から



社会科、中でも太平洋戦争に興味のある女子児童に対して歴史指導と戦争に対する意見交換を授業にしてみました。「和平と平和の違い」「ひめゆり挺身隊の様子」「戦時中の女子学生の生活」「なぜ戦争は回避できなかったか」など単に知識の吸収のみにとどまらない科学的・論理的な思考力の定着を目指しております。



輝いています☆ひまわりの子ども達

☆沼えびの繁殖に挑戦！！

Aさん親子を中心にひまわり農場の一角の水槽コーナーで、近所の水路から採集した沼えびの繁殖に挑戦中です。現在赤ちゃんえびを中心に500匹以上に増えました。



☆秋の鳴く虫の飼育に挑戦！！

Bさん親子を中心にひまわり運営資金調達のためのくつわ虫、鈴虫、松虫販売のための飼育活動をしております。成長した鈴虫は、秋を前に綺麗な声で鳴きはじめました。成虫は近くの野菜直売店で販売させていただいております。



☆ボランティアのCさんが責任者になり鶏、陸カメの飼育に子どもも参加しております。暑さの中、餌やり、小屋の清掃などを頑張っております。「継続は力なり」の実践です。

☆今、ひまわり農場は夏野菜の最盛期です。ナス、キュウリ、カボチャ、インゲンなどが所狭しと競っております。朝の収穫は子ども達と協力して行います。あまりの暑さにTシャツを通して汗がしたたります。



★ご質問・見学ご希望の方は、渡辺（090-9201-3992）までお気軽にお問い合わせください。

最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/>、とFacebookにてアップデートしています。